

aozora dayori
青空だより



毎日機嫌よく暮らしていますか。
相談室「青空」カウンセラー 伊藤 充

プライベートもオフィシャルも、自分の時間のどこを切り取っても絶対調、というのはなかなか難しいと思うのですが、皆さんはちゃんと自分のための時間を1日に5分でも10分でも取っているでしょうか。ゆっくりお風呂に入る、美味しいものを食べる、お気に入りの物を買う、いい香りをかぐ、好きな音楽を聴く…、人によって様々でしょうけれども、1日に少しだけの時間でもいいんです。機嫌よく過ごせる自分だけの時間を必ずとってみてください。ぐっすり眠れた朝はすっきりする、でもかまいません。

誰かのために、会社のために、世の中のために使う時間は尊いものですが、自分自身にエネルギー補給ができるのは、結局自分自身なのだと思えます。機嫌が悪くなる時、これはすなわち自分で自分自身の

感情をコントロールできなくなっている状態ですが、機嫌が悪いのを隠さず周りに表す人が時々いますね。機嫌が悪い状態をそのまま示すのは、周りにとってはれっきとした環境破壊です。それが常態化してしまうと、周りが様子を窺って、気を遣って環境が悪くなります。クラスも、家族も、友だちも、相手に対するリスペクトの気持ちを失ったとき、自分が呼吸をする空間をだいぶ居心地悪いものにしてしまうように思います。自分の機嫌は自分で責任もって取りましょう。そのためにも短い時間でもいいので自分を「よしよし」としてほしいのです。“今、この自分を褒めてほしい”という気持ちを叶えてくれる他者はなかなかいません。自分で自分の機嫌を取りましょう。

ご心配なことがありましたら、いつでもどうぞお気軽にいつでもご相談ください。お待ちしております。

- 生徒支援室 TEL.024-956-8852
- 分室「青空」(保健室内…カウンセラー常駐) TEL.024-956-8850

広報 日大東北
きらめけ日大東北

Vol.
121
NIHON UNIV.TOHOKU
HIGH SCHOOL
MAGAZINE 2023

広報 日大東北
きらめけ日大東北
発行日:2023年12月21日
発行:日本大学東北高等学校
編集:日本大学東北高等学校広報部



合唱部 第40回福島県声楽アンサンブルコンテスト 金賞



男子バスケットボール部 福島県U18バスケットボールリーグ戦(男子県1部リーグ) 2位



ハンドボール部 県大会新人戦 3位



相撲部 東北高等学校相撲選抜大会 団体初優勝

『雲のかなた』に想いをよせて

いろいろなことがあった令和5年の2学期でしたが、振り返れば著名な方々の訃報が多く伝えられた学期でもあったように思います。なかでも10月8日には、『いい日旅立ち』・『昂』・『サライ』などの楽曲で知られる谷村新司さんがこの世を去りました。

74歳で亡くなったシンガーソングライターの谷村新司さんは、東日本大震災や福島第一原発事故の影響に苦しむ福島県に、「福島への未来」への思いを込めた一曲を作りあげました。それが本校の下校を知らせる時に、いつも校内に流れる『雲のかなた』という曲です。この『雲のかなた』は、福島県民の皆さんや、本県に心を寄せていただいている方々から応募のあった「ふくしまへの想い」825通をもとに、谷村新司さんが作詞・作曲をしたもので、曲が完成した時、谷村さんから直接の指導をいただきながらレコーディングを行ったのが、本校合唱部の生徒たちでした。

そのような縁があったことから10月17日、民報テレビ局からの取材を受けることとなり、夕刻放映された番組の中では、合唱部の生徒のレコーディングの様子や、谷村新司さんの「前を向いてみんながよし頑張ろうと、10年後の自分をイメージできるような、なんかそんな歌にしたかった」という曲への熱い思いが、当時の映像とともに紹介されました。

また、取材を受けた成瀬鮎見先生(音楽科・合唱部顧問)は、「10年後、笑顔でいようね」という詩があって、この生徒たちにも10年後笑

顔でいられるように、谷村さんから“頑張って前進していこうね”というような言葉をかけていただいて、そのような思いを込めて歌わせていただきました」と話し、谷村さんとの思い出を振り返りました。

「10年後は笑顔でいようね」というこの言葉、私の大好きな言葉でもあり、実は毎年の卒業式の式辞の中で、必ずこの言葉を入れています。3年生の皆さん、3月の式では必ずどこかに入れますから、どうか待っていてください。

それからもう一つ、『雲のかなた』には「旅のあと帰着く場所それがここならいいね」という素敵な詩があります。生徒の皆さんは、これから人生という長旅を切り開きつつ、様々な困難にも直面するかもしれませんが、そんな時でもふと、人生の基本を学んだ日大東北のことを思い出してくれるような、そんな今の高校生活であってほしいと願います。

音楽室には、谷村新司さんとレコーディングをしたときの思い出の写真が大切に置かれています。その写真は、「10年後は笑顔でいようね」、そして「旅のあと帰着く場所それがここならいいね」と、いつまでもずっと本校生に語りかけているような気がします。



学校長 佐々木 稔

編集
後記

本誌121号は沢山の協力をいただき発行することができました。ありがとうございました。19時近くに下校時刻を告げる「雲のかなた」の詩がすごく好きで、特に「10年後も笑顔でいようね」の部分が大好きです。2023年も終わりを迎えようとしていますが、新型コロナウイルスが2類から5類に移行したことに伴い、マスクを外しての生活が戻ってきたことで未来につながる素敵な笑顔の生徒を沢山掲載できる喜びを感じています。次回も多くの生徒の活躍を掲載できればと思います。

日本大学東北高等学校

Nihon University Tohoku High School
〒963-1165
福島県郡山市田村町徳定字中河原1番地
TEL. 024-956-8840 FAX. 024-956-8873
https://www.tohoku.his.nihon-u.ac.jp

イベントカレンダー
Event Calendar
2022

9月 September

1日(金)	始業式 生徒会役員選挙告示
11日(月)	生徒会役員選挙立会演説会
12日(火)～13日(水)	保護者参観授業
14日(木)	生徒会役員選挙投票
28日(木)	基礎学力到達度テスト(3年)

10月 October

2日(月)	衣替え 生徒会役員認証式
3日(火)	校内運動会
4日(水)	日本大学創立記念日(第134回)
8日(日)	第2回英検
10日(火)～13日(金)	2学期中間試験
19日(木)	第2回献血
23日(月)	SNS・情報モラル講演会
26日(木)	芸術鑑賞会
28日(土)	文理クラス分け説明会 第2回漢検

11月 November

6日(月)～9日(木)	修学旅行(A班)
6日(月)～10日(金)	1年個別面談
7日(火)～10日(金)	修学旅行(B班)
22日(水)	第48回私学振興大会

12月 December

4日(月)～7日(木)	2学期期末試験
22日(金)	大清掃 クリスマスフェスタ
25日(月)～27日(水)	冬期進学講座(IIコース)

TOPICS

7.8Sat 第29回アカシヤ祭

7月8日に行われたアカシヤ祭は4年ぶりに保護者限定の一般公開での実施となった。新校舎になって初めての一般公開ということもあり、今までにない華やかなアカシヤ祭となった。各クラスで趣向を凝らした素晴らしい企画ばかりで、生徒にとっても思い出に残る最高の1日となった。

クラス企画表彰

学年	最優秀賞	優秀賞
1学年	1年11組 犯沢さんを狙え!	1年1組 目指せ!パーフェクト ストラックえんにち! 1年6組 千と魔法の神かくし
	2年13組 タイタニック ～沈没船から脱出せよ～	
2学年	2年7組 賭博禁止法 2年11組 原氏物語	
	3年14組 大さんのハニーハント	
3学年	3年3組 トイストーリーマニア 3年4組 歴史・・・?ほんと・・・?	



7.10Mon 思いやりキャンペーン

思いやりキャンペーンは、「普段私たちが利用する場所をきれいに保ち、周辺住民や来訪者が気持ちよく使える状態にする。さらに、登下校時の交通安全やマナーについて考える機会とし、地域社会における自己責任の啓発を図る」ことを目的として、3年生希望者が学校周辺と本校生の多くが利用している安積永盛駅前の清掃と除草作業を行った。猛暑の中、約130名の3年生が参加し、大変有意義な活動となった。



10.3Tue 校内運動会

本校グラウンドにて全校生徒による校内運動会が開催された。競技種目は3人4脚、ムカデ競争、台風の目、借り物競争、綱引き、徒競走、クラス対抗リレー、部活対抗リレーが行われた。天候にも恵まれ大盛り上がりの1日だった。

	種目	総合結果		
1学年	3人4脚 借り物競争、綱引き 徒競走 クラス対抗リレー	1位 1組	2位 6組	4位 5組
	ムカデ競争 借り物競争、綱引き 徒競走 クラス対抗リレー	1位 10組	2位 4組	3位 2組
3学年	台風の目 借り物競争、綱引き 徒競走 クラス対抗リレー	1位 1組	2位 11組	3位 3組 6組



9.11Mon 第74次生徒会発足

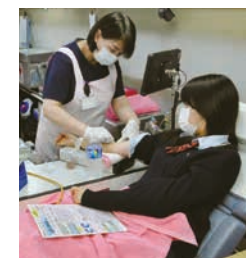
9月11日(月)に立会演説会、9月14日(木)に投票・開票が行われた結果、9名の新役員が選出された。10月2日(月)に生徒会新役員認証式を経て、第74次生徒会がスタートを切った。



	役職	クラス	氏名	出身
第74次生徒会役員	会長	2年5組	遠藤 豊歩	富田中
	副会長	2年6組	遠藤 直喜	郡山ザベリオ学園中
		2年10組	高木 美優	郡山第二中
	書記	2年3組	鈴木 真瑚	郡山ザベリオ学園中
		1年3組	林 莉華子	安積中
	会計	1年10組	大脇 遼也	二本松第二中
2年5組		奥村 優菜	西郷第二中	
1年8組		金田 煌史	三穂田中	
1年10組		宮川 恭一	郡山第二中	

10.19Thu 第2回献血

第2回の校内献血が実施された。福島県内にある6台の献血車のうち4台が本校校舎前に並び、151名の生徒・教職員が参加した。ご協力いただいた生徒・教職員の皆様には心より感謝申し上げます。今後も献血にご協力をお願いいたします。



10.23Mon SNS・情報モラル講演会

令和5年度SNS・情報モラル講演会を実施した。昨今、高校生によるSNSの不適切投稿等が問題となっている。このような中で、情報発信による他人や社会への影響など、ネットワーク上のルール・マナーを守ることの意味について考えさせ、トラブル等への適切な対処方法を周知し、正しい情報モラルを育成することを目的として実施した。この講演を通して、これまでのSNSの使い方を振り返り、正しいソーシャルメディアの活用方法について学ぶことができた。

10.26Thu 芸術鑑賞会

けんしん郡山文化センター大ホールにて芸術鑑賞会が行われた。今年度は音楽の分野からクラシックオペラを鑑賞。ほとんどの生徒が初めてのオペラ鑑賞で、演目は『Carmen・カルメン』で全曲フランス語楽曲で、歌詞は全くと言っていいほどわからなかったが、なじみの演目でありとても楽しく鑑賞することができた。特に第2幕闘牛士エスカミーリョが登場する際、本校合唱部とコラボした「闘牛士の歌」の演奏では会場全体に拍手が鳴り響き大盛況となった。



11.6Mon
-10Fri **修学旅行(北海道・函館)2年生**

2年生の修学旅行が11月6日から11月10日まで3泊4日(A班・B班)の日程で実施された。初日は新幹線で函館入りした後、五稜郭を観光。2日目は各自調べた計画に沿ってタクシーによる班別研修を行った。3日目はクラス別研修、最終日は洞爺湖遊覧船に乗り、3泊4日の旅行を終えた。



海外語学研修 **自分と向き合い続けて**
3年6組 清野 天治(守山中出身)

私は今回、日大東北高校の代表の1人として、イギリスケンブリッジ大学で行われた、付属高校生のサマープログラムに参加させて頂きました。2週間弱と言う短いプログラムではありましたが、私にとってかけがえのない経験になりました。



本場の英語を体感して英語力を向上させたい。そして、将来の夢である土木の仕事に就いた時、日本の道路をより安全なものにできるようにイギリスの道路を見てみたい、そう考えたのが、このプログラムに応募したきっかけでした。

大学での生活は、刺激で満ち溢れていました。英語のみで行う4人の先生の授業では、英文法やケンブリッジ生の生活についてなど、毎回異なるテーマを通して英語を学ぶことができました。また、寮生活や、ケンブリッジ大学の学生とのPAアクティビティなど、大変ではありましたが充実した日々を過ごすことができました。大学の外は歴史の残る美しい町並みが広がっており、何度見ても飽きない魅力的な建物がいくつもありました。自由時間には、そのような景色を見ながら出掛け、美味しい食事をしたり、イギリスならではの物が売っているお店などを発見することができました。

最初は、自分の英語が伝わるか不安でしたが、多くの外国の方々と関わりコミュニケーションを取ってみたいと考え、他の付属高校の仲間達と共に英語と向き合い続けました。その結果、以前よりも英語での会話ができるようになり、何より英語を話すのが楽しく感じるようになりました。

この研修では、英語力だけでなく、自分の殻を破って精神的にも大きく成長することができました。今回のプログラムに関わってくださったすべての人に心から感謝いたします。ありがとうございました。

11.22Wed **令和5年度第48回 福島県私学振興大会の開催について**

「大震災、原発事故を乗り越えて、個性を生かして育てる私学教育の振興と保護者の経済的負担の軽減を〜心豊かな人づくりは家庭・学校教育の充実から〜」という大会テーマのもと、ホテルハマツ(郡山市)において約1,000名の教職員・保護者が参加して開催されました。

大会の中で、私立学校への補助金の充実、保護者納付金の公私間格差についての是正などに向けた大会決議が採択され、内堀雅雄福島県知事に決議文をお渡ししました。会の後半では、芥川賞作家で福聚寺住職の玄侑宗久先生に、「目的という桎梏」というテーマで、ご講演をいただき、大盛況のうちに終わることが出来ました。

福島県全体で約168,000名分の署名は、決議文とともに12月13日の福島県議会に提出されることになっています。

請願署名活動にご協力をいただいた方々に、心より御礼申し上げます。
日本大学東北高等学校 教頭 花里 昌昭

修学旅行の思い出

2年14組 黒田 ゆきの(矢吹中出身)

今年の修学旅行は3泊4日で北海道に行きました。

北海道に着いた1日目、まず五稜郭公園へ行き、五稜郭や戊辰戦争についての知識を深めました。隣接する五稜郭タワーの展望台からは、星型の五稜郭や函館の景色を楽しむことができました。

2日目は函館市内の観光をしました。旧函館区公会堂や金森赤レンガ倉庫、湯倉神社、足湯など有名な観光地を巡ったり、1日で函館を満喫できました。その後は函館山で「100万ドルの夜景」と呼ばれている函館の夜景を見ました。街の明かりがキラキラと輝く幻想的な函館市内を一望でき、とても感動しました。

3日目のクラス別活動では、ジェルキャンドルを作ったり、水族館に行ったりしました。友達と一緒に作業したり、写真を撮ったりして仲を深めることができ、良い思い出になりました。この日宿泊したホテル、「ザ・ウインザーホテル洞爺」はとても豪華で非日常感を味わうことができました。そこでの夕食はテーブルマナーを学びながら食べるフレンチで、苦戦しながらも料理を楽しみました。さらに花火大会もあり、間近で見る花火は迫力があってとても美しく、目に焼き付いています。

最終日は洞爺湖の遊覧船に乗りました。昭和新山などの雄大な自然を感じられる貴重な体験ができました。

この修学旅行では、たくさんの思い出と学びを得ることができました。ここまで修学旅行を楽しめたのは、先生方、旅行会社の皆様、保護者の方々など、たくさんの支えがあったからです。本当にありがとうございました。修学旅行で育んだ絆と思い出と共に残りの学校生活も大切にしていきたいです。



学年だより

1 学年

1学年主任 和泉 賢一



成長の機会は
いたるところに

入学式から9ヶ月が経ちました。時の流れは、はやいものです。1学期は高校生活に慣れることに精一杯だった生徒たちも、2学期になると学習、部活動、進路研究・・・に意欲的に取り組む姿がみられました。

夏休みに実施した「工学部キャリアインタビュー」には、15名の有志が参加しました。実際に日本大学工学部を訪問し、学科や研究室について学び、Iコース生徒に対してプレゼン発表を行いました。また、Iコース生徒全員を対象に実施した「キャリア自由研究」では、身近な大人へのインタビューを通して、仕事の内容や魅力について学びました。グループ発表、クラス発表を経て、クラス代表がIコース生徒にプレゼン発表を行いました。どちらの発表も素晴らしいプレゼンが多く、あらためて生徒たちの力を目の当たりにしました。

部活動での活躍にも素晴らしいものがありました。夏に北海道で開催された全国高等学校総合体育大会(インターハイ)には、陸上競技部5名、相撲部1名、水泳部5名、計11名の1年生が出場しました。9月に鹿児島県で開催された国民体育大会には、1年生7名が出場しました。特に水泳部の渡部竣也くん(1組)は、少年男子B100m背泳ぎで2位入賞を果たし、武田璃子さん(1組)も、少年女子B100m平泳ぎで7位入賞を果たしました。全国大会入賞の素晴らしい成績です。

そしてなにより2学期は、「文理選択」、「科目選択」を通して将来を考えました。生徒たちは、上記キャリア研究にはじまり、説明会や総合探究、HR活動を通して、自分自身の将来をみつめました。自分を知り、社会を学ぶ、大切な機会となりました。

学校生活のいたるところに、成長の機会があります。1月21日(日)に実施される「実用英語技能検定」には、Iコース40名、IIコース38名、1年生計78名の生徒がチャレンジします。自ら目標を設定し、学びを進める姿を嬉しく思います。2024年も、生徒たちがこれらの機会に気づき、挑戦できるように、精一杯手伝いたいと考えています。良いお年をお迎えください。

2 学年

2学年主任 川野 貴光

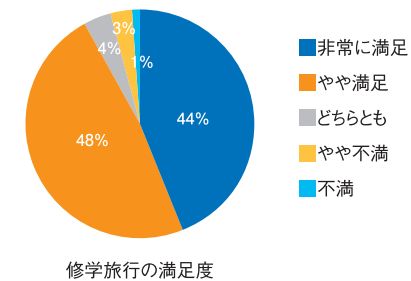


修学旅行

高校生活の一大イベントである修学旅行を無事終えることが出来ました。3泊4日の行程の中、生徒はもちろんのこと教職員も、有意義な時間を過ごすことが出来ました。昨年とは異なり、北海道で3泊する行程になり、より北海道(道南)を堪能する時間を増やしていただきました。B班はご存知の通り、初日の福島県は大雨で交通障害に見舞われました。正直なところ、「全員で北海道にたどり着けないのではないか」と思ったときもありました。しかし、JTBさんの奮闘・生徒の落ち着いた行動等により、無事、函館国際ホテルに到着することが出来ました。

3日目のクラス別研修は昨年まで企画されていないコース(カーリング体験・清流下り・ノーザンファーム見学)も用意されました。生徒たちの素敵な笑顔が印象的です。

また、洞爺湖では、本校のために用意された花火大会も実施していただき、とても印象深いものとなりました。



帰着後の生徒のアンケートの結果を見ても、この旅行の楽しさそして充実ぶりが分かります。

3学期は、進路を考えるにあたり大切な期間です。生徒たちには、修学旅行を通じて学んだこと・気が付いたこと・深く考えたこと・・・を活かし、進路希望に向かって学校生活を有意義なものにして欲しいです。そのために、素敵な年末を過ごしていただき、良い形で新年を迎えてもらいたいと思います。

3 学年

3学年主任 松崎 一寿



2023年を振り返って

この1年間、部活動の面では、高校最後の大会に挑み、県大会、東北大会、全国大会と活躍した人もいれば、残念ながら、目標に到達できず思うような結果が得られなかった人もいました。社会に出ると、物事が自分の思うように進まないことが多いです。良い結果が得られればそれに越したことはないのですが、思うような結果が出なかったときは、そこで諦めるのではなく、「次こそは」と粘り強く、様々なことに挑戦する姿勢が必要であると感じます。部活動で得た経験を卒業と同時にリセットするのではなく、次の新しい環境でも活かしてほしいと思います。

また、進路面では、年内受験の方たちは、ほぼ合格が決まり、入学手続きに進んでいる方が多いと思います。例年、年内受験者が増えてきており、残りの3カ月の過ごし方に注目されています。何もしない生活ではなく、新しい環境でいいスタートが切れるように、一般受験の問題を解くなど、自分の学力向上に努めてほしいです。現に私自身も付属推薦で日本大学に進学した身ですが、大学入学したのときに、一般受験で入学した学生との学力の差を痛感した記憶があります。大学進学者だけでなく、専門学校進学者や就職する人たちも、残りの時間を有効に活用し、資格や検定試験に挑戦し、自分のキャリアアップにつなげてほしいです。一般受験を控えている人たちは、ここまで数々の模試をこなしてきました。中々、自信につながった人は少ないかもしれませんが、この冬休みで追い込みをかけて、希望進路実現を達成してください。勉強も大事ですが、体調を崩してしまうと勉強そのものができなくなってしまいます。そうならないように、生活リズムは保ちつつ、食事と睡眠は適度にとって、受験勉強に励んでください。万全の状態受験できるように祈っています。

2024年は高校を卒業する年、新しい環境で生活を始める年になります。皆様にとって良い年になりますよう、お祈り申し上げます。

教務部だより

自走に繋がる「見える」化

本校の教務部は、生徒たちが自分自身の学習目標を設定し、それを達成するための戦略を立て、自分自身の学習を主導する能力を育てることを目指しています。そのような「生徒が自ら学びに向かう姿勢(=自走)」には、次の①～③の要素が特に重要とされています。

教務部主任
秋山 浩樹



重要要素①

学びが何故重要なかを理解することで
学びに対する**内発的な動機**を得ること。

重要要素②

学習を行う場所と時間を一定にすることで
学習を習慣化すること。

重要要素③

学習に関わる様々な観点を「見える」化すること。

今号では、特に「③見える化」に関わる本校の取り組みについて報告させていただきます。

見える化とは「目に見えにくいものを、あえて目に入るような仕組みにすること」を示す言葉です。本校の学習に関する様々な取り組みでは、生徒が普段意識していないことに「目がいく」ように、意図的な「見える化」を取り入れています。例えば、「自分の学びの実績を見る化」することで、学びに対する自信・自己肯定感が上がります。また、「一緒に学ぶ仲間・ライバルを見る化」することで、学びに対する使命感、競争心、集団的集中力が高まるとともに、勉強することそのものに対する安心感を得ることができます。さらに、「今やっている学びの先にあることを見る化」することで、今の学びが自分の将来に繋がる時間的・労力的投資であることを知り学びのモチベーションが高まります。

下は「見える化の観点」と「本校の学習に関する取り組み」及び「参加生徒の感想」です。各取り組みに対する生徒の皆さんの向き合い方が、さらに洗練されることを期待しています。

仲間・ライバルを見る化 「自学型放課後補習(1年生)」

一緒に参加申込みした友達と5月の全体説明会の時に「1年間必ずやり遂げよう」と約束をしたため、自分だけ途中で投げ出すわけにはいかないそうです。

学びの実績を見る化 「自学型放課後補習(2年生)」

1年間、問題集を解き続けています。ペースの早い生徒は11月時点で5冊の問題集を完成させており、それらを机の上に並べておくだけで「勉強に対する達成感」や「自信」が湧いてくるそうです。

先にあることを見る化 「ロハス探究活動」

工学部の先生方から対面・オンラインのハイブリッド方式でサポートを受けながら、他校では真似のできない専門的・学際的な探究活動を行っています。大学の学びの疑似体験ができているそうです。

1年3組 佐藤 登生くん(郡山二中出身)
1年生放課後補習(自学)に参加して
放課後補習(自学)を通じて、自分たちの夢や新たな気づきを自主的に得るとともに、仲間と協力しながら勉強に真剣に取り組むことができました。私は英語の補習でレベル別の問題集を活用して勉強しています。最初のうちは英語が苦手で、解けない問題も多かったのですが、問題を解く数を増やしていくうちに内容が理解できるようになりました。その結果、勉強に対する充実感や達成感を味わい、モチベーションが上がって、今では楽しく問題を解くことができます。

2年5組 二口 真帆さん(郡山一中出身)
2年生放課後補習(自学)に参加して
1年生の時も自主的に補習を申し込み、友達と教え合いながら取り組むことで成績が上がって行くのを実感しました。その経験があったため、2年生になって放課後補習(自学)に申込みました。「その日の放課後補習でやる問題集のノルマを決め、達成する」を続けることにより、やり遂げた問題集が積み重なり、モチベーションアップに繋がっています。

2年8組 飯野 杏さん(安積二中出身)
ロハス探究(日大東北高校・日大工学部連携)に参加して
大学の先生方に実際にお会いする前はとても緊張していました。しかし、先生方がとても和やかにお話してくださったので、楽しく探究を進めることができています。また探究グループの仲間とも共に助け合い、新しい発見や知識を学ぶことができました。大学に入る前に、大学の学びをイメージすることができたため、新しい学びのモチベーションを見つけることができました。

進路指導部だより

日本大学工学部キャリアインタビュー

“機械工学科”について発表した5名に校長賞!

8月1日～4日に日本大学工学部キャリアインタビューが開催され、Iコース1年生15名が参加しました。参加者はそれぞれ希望する学科の研究室を訪問し、研究内容について大学の先生にインタビューをしたり、施設見学や実習を体験したりして、その内容をプレゼン資料にまとめ、動画による発表を行いました。最も優れた発表に贈られる校長賞には機械工学科に参加した5名が選ばれ、学年主任賞には生命応用化学科に参加した6名(力丸りりかさん、安藤宗久さん、小野聡子さん、蛭田莉那さん、中塚日菜さん、平塚優希さん)が選ばれました。



進路指導部主任
芥川 敦

実際に社会で活躍されている先生方の話を直接聞くことができ、自分の世界が広がったように感じます。参加してよかったです。

工学部の研究について知れたことはもちろん、パワーポイントの技術やプレゼンの方法を学ぶことができ、とても貴重な経験ができました。

大学教授に直接話を聞く機会があるのは付属校ならではの、日大工学部の先生方が日本だけでなく世界のみなさんと協力して活動していることを知ることができました。

大学の研究を教授から直接聞くことができたことは大きな経験になりました。プレゼンのスライドもみんなで協力して作成することができました。

参加してとてもよかったです。自分でインタビューをして学んだことをまとめて発表することの楽しさや面白さを感じることができました。



安藤宗久さん(船引中) 河野将大さん(白河二中) 池上寧々さん(鏡石中) 高守陽菜さん(二本松三中) 林 莉華さん(安積中)

キャリア自由研究

野口 愛姫さんに校長賞! 学年主任賞には鈴木 絆永さん!

身近な大人にインタビューを行い、仕事の魅力・大変なことなどを調査し、その内容を資料にまとめて発表を行い互いに共有する企画「キャリア自由研究」にIコース1年生全員が取り組みました。各クラス代表によるプレゼン大会が11月1日に行われ、5組の野口愛姫さんが校長賞に選ばれました。

今回の活動は、父の仕事についてだけでなく「父」と向き合う良い機会になり、家族としっかりと話をすることの大切さに改めて気づくことができました。プレゼンは、スライドの文字とイラストの量のバランスや、口頭での説明の仕方などについて試行錯誤を繰り返し、何度も撮り直しました。校長賞を受賞にはびっくり!とてもうれしいです。



野口愛姫さん(猪苗代中)

クラス代表に選ばれた皆さん

1組	小島龍之介さん(柏原市立堅下北中)「製造業品質保証部」
2組	齋藤 颯さん(郡山一中)「小学校教諭」
3組	大矢 学永さん(大玉中)「ダンスインストラクター」
4組	池上 寧々さん(鏡石中)「病院の事務」
5組	野口 愛姫さん(猪苗代中)「ホテルマン F&Bマネージャー」 校長賞
6組	笠原 昊大さん(郡山ザベリオ中)「牧場主」
7組	木村 花愛さん(須賀川二中)「旅館職員」
8組	鈴木 絆永さん(安積中)「専業主婦」 学年主任賞
9組	廣瀬 陽菜さん(郡山一中)「会社員(総務部長)」
10組	平塚 優希さん(郡山一中)「国家公務員(労働局)」

()は出身中

保健衛生部だより

「献血」は命をつなぐボランティア

本校では「命のボランティア」である献血を年間2回実施しています。現在コロナ禍で献血者が激減している中、今年度も多くの生徒や教職員が参加しました。

血液は、人工的につくることや長期保存をすることができず、大量出血等で必要とされる輸血用の血液は採血後28日しかもちません。また、献血血液のおよそ半分は輸血用に使用されず、医薬品の製造に用いられています。献血は、血液が無駄にならないように、医療機関の需要に応じた必要な量だけが集められており、継続的な協力が必要です。

献血は、小さな善意が集まった活動であり、今年度は2回の実施で計314名の生徒、教職員が参加しました。

「献血」は身近にできる命をつなぐボランティア。次年度は更に参加者が増えることを願っています。

参加人数

第1回	6月15日(木) 163名 (200ml96名、400ml37名、不採血30名)
第2回	10月18日(火) 151名 (200m91名、400ml30名、不採血30名)



保健衛生部主任
向田 祐樹



性に関する講演会

6月30日(金)本校SAKURAホールにおいて、「思春期の心と体を考える会」の代表である宇佐見美智代先生をお招きして「性に関する講演会」を開催しました。会場での講演に合わせて、各教室にLIVE配信し1・2年生合わせて約900名の生徒が参加しました。

思春期学会の会員である宇佐美先生は、セルフコントロールの認定講師としてもご活躍されており、特に10代の若者の性の現状にこころを痛み、県内外の学校を訪問し、講師を務めておられます。

現役の看護師として勤務されている経験を活かし、「性」と「生」というテーマで思春期の性行為の危うさや性感染症のリスクばかりでなく、貧困や紛争、早すぎる結婚やヤングケアラーになることで学ぶ機会を失った女性の問題等にも触れた講演となりました。先生の作成された動画により、世界には様々な環境で懸命に生きる同世代の人々がいることを生徒に訴えかけてくださいました。



保健衛生部の活動

保健衛生部では、1健康の保持増進、2快適な生活環境づくり、3感染予防の3つの指導目標を掲げ生徒並びに教職員の皆様の心身のサポートをしています。その一つである環境整備では、今年度より環境衛生委員の週番活動を復活させ、活動を行っています。

週番活動は旧校舎時代から行っていましたが、令和2年に新校舎に移行する頃から新型コロナウイルス感染症が蔓延したこともあり、活動が休止していました。原油高騰などによる電気料の値上げもあり、週番活動を復活し節電のための消灯、防犯のための施錠、清掃状況などの報告をiPadのロイノートを使って生徒に自主的に報告させています。

活動の内容はまだ形式的で、特に清掃状況が良くなったとか、教室の居残りがなくなったとか、節電効果が大きくなったとか、目立った成果に目に見えて結びついていないわけではありません。しかし、各クラスの週番委員が交代制で行っている報告は、毎回きちんと送られてくるようになっており、生徒が主体的に活動する第一歩と考えています。

また、感染予防の観点からは、新型コロナウイルス感染症が一応の感染

拡大が収まったのと並行し、インフルエンザやノロウイルスなどの他の感染症の流行が心配されています。これらに関しても保健衛生部だけの活動ではなく、ボランティア委員会には昼休みに感染予防を呼びかける校内放送をお願いしました。また、美術部には感染予防行動を啓蒙するポスターの作成を依頼し、それを校内へ掲示するなど、保健衛生部の活動を文化部の生徒たちに協力してもらっています。

清掃状況などの環境面や感染予防の衛生面は、我々保健衛生部の教員だけで解決・改善できる問題ではありません。生徒一人ひとりの心掛けが大切です。教員から一方的に施錠や感染予防を呼びかけるだけでなく、生徒目線で呼びかけてみる。その理想の実現はまだですが、この活動が少しずつ根付いてくれたらなと思っています。



クラブ活動記録

県大会については3位以上、東北大会は入賞者、全国大会は出場者を掲載 ()は出身中

全国大会

令和5年度 全国高等学校総合体育大会(インターハイ)

相撲部	ベスト32	佐藤 悠佑(蓬 葉)	工藤 礼暖(坂 下)
団体		國分 夏(三穂田)	菊田 流雅(友 部)
個人	出場	國分 夏(三穂田)	菊田 流雅(友 部)
80kg未満	出場	佐藤慎之助(坂 下)	

ライフル射撃部			
AR40MJ	出場	鈴木 志門(矢 祭)	
BR40MJ	出場	家久来 蒼(安 積)	湯坐斗喜也(鮫 川)
		遠田 悠翔(安積二)	黒子 遼人(安 積)
BR40WJ	出場	佐藤 愛珠(白河中央)	黒川 莉織(大 信)
		今泉 奈桜(岩 江)	

陸上競技部			
女子100m	出場	陳野 莉心(白河二)	
女子4×100m	出場	石川 暖菜(白河中央)	佐藤 蓮華(石 川)
		佐藤 悠(郡山四)	安住 乃菫(郡山四)
		藤田 抄己(棚 倉)	筋内 汐音(船 引)
男子4×400m	出場	大塚 要介(富 田)	井上琉之亮(矢 吹)
		吉田 ゆう(船 引)	筋内 洗斗(船 引)
		佐久間翔穂(鏡 石)	佐藤 漣(西袋一)

男子円盤投げ	出場	小野 大輝(ひらた清風)
女子三段跳び	出場	遠藤 結(広 瀬)
男子三段跳び	出場	曲山 純平(福大附属)
男子走幅跳び	辞退	小針 幸誠(矢 吹)
	出場	曲山 純平(福大附属)
	3 位	君島 風牙(郡山三)
男子砲丸投げ	出場	新妻 大希(郡山五)
女子走高跳び	出場	三宅 花音(郡山四)

水泳部			
男子100m背泳ぎ	出場	渡部 竣也(郡山一)	
男子200m背泳ぎ	出場	渡部 竣也(郡山一)	
男子400mリレー	出場	渡部 竣也(郡山一)	竹田 李河(行 健)
		樽川 脩汰(郡山六)	石川 遼弥(行 健)
男子400mメドレーリレー	出場	渡部 竣也(郡山一)	樽川 脩汰(郡山六)
		竹田 李河(行 健)	石川 遼弥(行 健)
女子100m平泳ぎ	出場	武田 璃子(若松一)	
女子200m平泳ぎ	出場	武田 璃子(若松一)	
女子3m飛板飛込	出場	西川 炎歩(安 積)	今野 陽菜(富 田)
女子高飛込	出場	西川 炎歩(安 積)	

馬術競技部		
馬術競技	2 位	秋葉 大地(上市市北)

体操部		
女子個人	出場	大和田歩華(緑ヶ丘)

第14回全日本女子相撲岐阜大会

相撲部		
超軽量級	出場	関下 爽夏(福大附属)

第28回全日本相撲選手権大会

相撲部		
超軽量級	出場	関下 爽夏(福大附属)

第11回国際女子相撲選抜大会

相撲部		
無差別級	出場	関下 爽夏(福大附属)
軽量級	ベスト8	関下 爽夏(福大附属)

令和5年度 第1回全日本高校生ピストル射撃競技選手権大会

ライフル射撃部		
BP60J	3 位	須藤 巧(棚 倉)
	出場	村上 安貴(郡山四)
BP60WJ	出場	菱沼 未来(安積二)
AP60J	出場	須藤 巧(棚 倉)

令和5年度特別国民体育大会(燃ゆる感動がこしま国体)

相撲部		
団体	出場	國分 夏(三穂田)
		佐藤 悠佑(蓬 葉)
		工藤 心暖(坂 下)

ライフル射撃部		
BR60J	出場	湯坐斗喜也(鮫 川)
BP60J	出場	須藤 巧(棚 倉)
BR60WJ	出場	古川 裕菜(山形大)
AR60J	出場	鈴木 志門(矢 祭)
AP60J	出場	須藤 巧(棚 倉)

陸上競技部		
少年B女子100m	出場	石川 暖菜(白河中央)
少年B男子円盤投げ	出場	酒井 佑真(古 殿)
少年共通女子三段跳び	出場	遠藤 結(広 瀬)
成年少年共通4×100mR	出場	陣野 莉心(白河二)
少年A男子走幅跳び	2 位	曲山 純平(福大附属)
少年共通女子走高跳び	7 位	三宅 花音(郡山四)

男子バスケットボール部		
少年男子バスケットボール競技	出場	矢吹 匠(石 川)
		遠藤 晴空(本宮二)

水泳部		
少年男子B100m背泳ぎ	2 位	渡部 竣也(郡山一)
少年男子B200m個人メドレー	8 位	渡部 竣也(郡山一)
少年男子B50m自由形	出場	石川 遼弥(行 健)
少年女子B100m平泳ぎ	7 位	武田 璃子(若松一)
少年男子B4×100mメドレーリレー	出場	石川 遼弥(行 健)
		渡部 竣也(郡山一)
少年女子3m飛板飛込	出場	西川 炎歩(安 積)
少年女子高飛込	出場	西川 炎歩(安 積)

馬術部		
標準障害飛越競技	7 位	秋葉 大地(上市市北)
二段階障害飛越	8 位	秋葉 大地(上市市北)

U18日本陸上競技選手権

陸上競技部		
男子走幅跳び	出場	君島 風牙(郡山三)
男子300mH	出場	野崎 鳳輝(白河二)
男子円盤投げ	7 位	小野 大輝(ひらた清風)
女子100mH	出場	陣野 莉心(白河二)

第46回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会 飛込競技

水泳部		
女子(16~18歳)高飛込	出場	西川 炎歩(安 積)
女子(16~18歳)3m飛板飛込	出場	西川 炎歩(安 積)
女子(12~18歳)3mシンクロ飛板飛込	3 位	西川 炎歩(安 積)

県大会

令和5年度福島県総合スポーツ大会

相撲部[郡山相撲場:7/8]

団体	優勝	菊田 流雅(友部)	國分 夏(三穂田)
		佐藤 悠佑(蓬萊)	
	3位	佐藤慎之助(坂下)	工藤 礼暖(坂下)
		工藤 心暖(坂下)	
個人選手権	2位	國分 夏(三穂田)	
	3位	菊田 流雅(友部)	

ライフル射撃部[二本松総合射撃場:7/23]

AR60J	1位	鈴木 志門(矢祭)	
BR60J	1位	家久来 蒼(安積)	
	2位	湯坐斗喜也(鮫川)	
	3位	遠田 悠翔(安積二)	
BP60J	1位	須藤 巧(棚倉)	
	2位	村上 安貴(郡山四)	
BR60WJ	1位	古川 裕菜(郡山四)	
	2位	佐藤 愛珠(白河中央)	
	3位	黒川 莉織(大信)	
BP60WJ	1位	菱沼 未来(安積二)	

陸上競技部[とうほう・みんなのスタジアム:7/13~7/16]

男子4×100mR	3位	松崎 大周(裏磐梯)	遠藤 瑛汰(北信)
		小針 星砂(古殿)	鈴木 我空(日和田)
男子走幅跳	2位	曲山 純平(福大附属)	
	3位	君島 風牙(郡山三)	
男子円盤投げ	1位	小野 大輝(ひた浦風)	
男子少年A300mH	2位	野崎 鳳惺(白河二)	
男子少年B100m	3位	鈴木 我空(日和田)	
男子少年B100mJH	1位	根本 凌空(石川)	
男子少年B走幅跳び	1位	御代田弘亮(船引)	
男子少年B円盤投げ	1位	酒井 佑真(古殿)	
	2位	佐久間大翔(郡山五)	
女子5000m	3位	山口 ありす(郡山五)	
女子3000mSC	3位	安齋 響(二本松二)	
女子走幅跳	1位	三宅 琴美(西郷二)	
女子三段跳び	1位	遠藤 結(広瀬)	
女子少年A3000m	1位	山口 ありす(郡山五)	
	3位	橋本 琴美(西郷二)	
女子少年B100m	1位	石川 暖菜(白河中央)	
女子少年100mYH	2位	箭内 汐音(船引)	
女子少年B100m円盤投げ	1位	加藤明日香(本宮二)	
	3位	松井 さくら(三穂田)	

水泳部(競泳競技)[会津水泳場:7/29~7/30]

男子400m自由形	2位	柳川 脩汰(郡山六)	
男子100m背泳ぎ	1位	渡部 竣也(郡山一)	
男子200m背泳ぎ	3位	菅野 楓(行健)	
男子200m平泳ぎ	2位	蓬田 陸人(守山)	
男子200m個人メドレー	2位	渡部 竣也(郡山一)	
男子4×50mフリーリレー	2位	角田 翔夢(郡山一)	三浦 大和(白河中央)
		山寺 優成(郡山四)	榊 瑚太郎(富田)
男子4×100mフリーリレー	1位	石川 遼弥(行健)	柳川 脩汰(郡山六)
		山寺 優成(郡山四)	榊 瑚太郎(富田)
		蓬田 陸人(守山)	柳川 脩汰(郡山六)
		山寺 優成(郡山四)	榊 瑚太郎(富田)
	3位	竹田 孝河(行健)	菅野 楓(行健)
		三浦 大和(白河中央)	角田 翔夢(郡山一)
男子4×100mメドレーリレー	2位	角田 翔夢(郡山一)	長岡 聖貴(郡山七)
		渡部 竣也(郡山一)	三浦 大和(白河中央)
女子100m背泳ぎ	3位	渡邊 寧來(仁井田)	
女子200m背泳ぎ	3位	渡邊 寧來(仁井田)	
女子4×50mメドレーリレー	2位	蓬田 虹美(守山)	高橋 澤(明健)
		渡邊 寧來(仁井田)	円谷 紀子(郡山一)
女子4×50mリレー	1位	渡邊 寧來(仁井田)	蓬田 虹美(守山)
		高橋 澤(明健)	円谷 紀子(郡山一)

水泳部(飛込競技)[郡山カルチャーパーク飛込プール:7/29~7/30]

女子1m飛板飛込	1位	西川 炎歩(安積)	
	2位	今野 陽菜(富田)	
女子3m飛板飛込	1位	西川 炎歩(安積)	
	2位	今野 陽菜(富田)	
女子高飛込	1位	西川 炎歩(安積)	
	2位	今野 陽菜(富田)	

令和5年度福島県高等学校新人体育大会

相撲部[郡山相撲場:9/2]

団体	優勝	菊田 流雅(友部)	國分 夏(三穂田)
無差別級	1位	菊田 流雅(友部)	
	2位	國分 夏(三穂田)	
100kg以上	1位	菊田 流雅(友部)	
	2位	國分 夏(三穂田)	

ライフル射撃部[二本松総合射撃場:10/29]

BR男子団体	優勝	湯坐斗喜也(鮫川)	遠田 悠翔(安積)
		黒子 遼人(安積)	
BR女子団体	優勝	今泉 奈桜(岩江)	吉田由紀恵(常葉)
		佐藤 愛珠(白河中央)	
BRS60J	1位	遠田 悠翔(安積二)	
	2位	湯坐斗喜也(鮫川)	
	3位	黒子 遼人(安積)	
BRS60WJ	1位	佐藤 愛珠(白河中央)	
	2位	菱沼 未来(安積二)	
	3位	深沢 美帆(郡山一)	
BP60J	1位	村上 安貴(郡山四)	
	2位	川越 琉惺(郡山五)	
BP60WJ	1位	緑川 智子(棚倉中)	
	2位	菱沼 未来(安積二)	

陸上競技部[いわき陸上競技場:9/9~9/11]

男子100m	1位	遠藤 瑛汰(北信)	
男子200m	1位	遠藤 瑛汰(北信)	
	2位	松崎 大周(裏磐梯)	
	3位	佐久間翔梧(鏡石)	
男子400m	1位	吉田 ゆう(船引)	
	3位	井上琉之亮(矢吹)	
男子800m	1位	佐藤 楓羽(須賀川一)	
男子110mH	1位	齋藤 蒼空(郡山七)	
男子400mH	3位	野崎 鳳惺(白河二)	
男子4×100m	1位	松崎 大周(裏磐梯)	齋藤 正弥(五箇)
		小針 星砂(古殿)	佐久間翔梧(鏡石)
		君島 風牙(郡山三)	井上琉之亮(矢吹)
男子走幅跳び	1位	君島 風牙(郡山三)	
男子砲丸投げ	2位	酒井 佑真(古殿中)	
	3位	小野 大輝(ひた浦風)	
男子円盤投げ	1位	小野 大輝(ひた浦風)	
	3位	酒井 佑真(古殿)	
男子八種競技	1位	佐久間凜風(船引)	
	2位	柳沼 詩音(郡山七)	
	3位	日比野 匠(福島四)	
女子100m	1位	陣野 莉心(白河二)	
女子200m	1位	陣野 莉心(白河二)	
女子3000m	3位	安齋 響(二本松二)	
女子100mH	3位	箭内 汐音(船引)	
女子2000mSC	3位	水野谷風歌(中島)	
女子4×100m	1位	箭内 汐音(船引)	陣野 莉心(白河二)
		佐藤 蓮華(石川)	石川 暖菜(白河中央)
女子砲丸投げ	3位	松井 さくら(三穂田)	

水泳部(競泳競技)[郡山しんきん開成山プール:9/16~17]

男子総合 優勝			
男子50m自由形	1位	石川 遼弥(行健)	
男子100m自由形	1位	石川 遼弥(行健)	
男子400m自由形	3位	長岡 聖貴(郡山七)	
男子100m背泳ぎ	1位	竹田 孝河(行健)	
	3位	菅野 楓(行健)	
男子200m背泳ぎ	1位	渡部 竣也(郡山一)	
	3位	菅野 楓(行健)	
男子100mバタフライ	1位	渡部 竣也(郡山一)	
男子200mバタフライ	3位	竹田 孝河(行健)	
男子200m個人メドレー	1位	柳川 脩汰(郡山六)	
男子400m個人メドレー	1位	柳川 脩汰(郡山六)	
男子400mリレー	1位	石川 遼弥(行健)	竹田 孝河(行健)
		渡部 竣也(郡山一)	柳川 脩汰(郡山六)
男子400mメドレーリレー	2位	渡部 竣也(郡山一)	石川 遼弥(行健)
		柳川 脩汰(郡山六)	竹田 孝河(行健)

女子総合 2位

女子50m自由形	2位	高橋 澤(明健)	
女子100m背泳ぎ	3位	蓬田 虹美(守山)	
女子200m背泳ぎ	2位	蓬田 虹美(守山)	
女子100mバタフライ	2位	円谷 紀子(郡山一)	
女子200mバタフライ	1位	円谷 紀子(郡山一)	
女子100m平泳ぎ	1位	武田 璃子(若松一)	
女子200m平泳ぎ	1位	武田 璃子(若松一)	
女子400mメドレーリレー	1位	蓬田 虹美(守山)	武田 璃子(若松一)
		円谷 紀子(郡山一)	高橋 澤(明健)

水泳部(飛込競技)[郡山カルチャーパーク・飛込プール 8/11]

女子学校対抗 優勝			
女子3m飛板飛込	今野 陽菜(富田中)		
女子高飛込	今野 陽菜(富田中)		

第41回福島県高等学校女子駅伝競走大会

陸上競技部[猪苗代体育館カメリーナ:10/26]

2位	山口 ありす(郡山五)	安齋 響(二本松二)
	齋藤 莉穂(郡山三)	水野谷風歌(中島)
	滝深 心咲(棚倉)	近藤 美憂(西郷二)
	嶋崎 桃花(白河二)	橋本 琴美(西郷二)

第76回全国高等学校バスケットボール選手権大会福島県予選会

男子バスケットボール部[あづま総合体育館:10/27~11/4]

3位	佐藤 音弥(本丸)	鈴木 健翔(白河二)
	鈴木 拓磨(泉)	棚木 成伊(喜多方三)
	永井 優慧(川口西)	連沼 明宏(一箕)
	深谷 瑞希(白河二)	遠藤 遥翔(本郷)
	矢吹 匠(石川)	佐藤 駿平(二本松一)
	想田 宥斗(郡山三)	畑岡 陸(須賀川一)
	相良 星太(御館)	安島 通孝(植田)
	上原 晴希(平一)	遠藤 晴空(本宮二)
	長峰 海音(若松二)	平野 源斗(一箕)
	熊田 拓真(須賀川一)	飯田 基裕(郡山三)
	樋渡 龍汰(郡山四)	伊勢谷圭祐(本宮一)
	佐藤 煌士(中央台北)	大越 暁人(石川)
	小針 智広(船引)	小沼 怜央(本宮二)

福島県U18バスケットボールリーグ戦(男子県1部リーグ)

男子バスケットボール部[県内高校体育館:9/9~11/23]

2位	佐藤 音弥(本丸)	鈴木 健翔(白河二)
	鈴木 拓磨(泉)	棚木 成伊(喜多方三)
	永井 優慧(川口西)	連沼 明宏(一箕)
	深谷 瑞希(白河二)	遠藤 遥翔(本郷)
	矢吹 匠(石川)	佐藤 駿平(二本松一)
	想田 宥斗(郡山三)	畑岡 陸(須賀川一)
	相良 星太(御館)	安島 通孝(植田)
	上原 晴希(平一)	遠藤 晴空(本宮二)
	長峰 海音(若松二)	平野 源斗(一箕)
	熊田 拓真(須賀川一)	飯田 基裕(郡山三)
	樋渡 龍汰(郡山四)	伊勢谷圭祐(本宮一)
	佐藤 煌士(中央台北)	大越 暁人(石川)
	小針 智広(船引)	小沼 怜央(本宮二)

第40回福島県声楽アンサンブルコンテスト

合唱部[ふくしん夢の音楽堂:12/9]

金賞	鈴木 青空(守山)	松崎 由奈(本宮一)
	矢田部乃愛(郡山六)	鈴木 正徳(矢吹)
	森山 葉名(郡山一)	嶋山 ひより(安積)
	齋藤 葵依(郡山六)	瀧田 心美(郡山一)
	小山 陽生(熱海)	金田 煌士(三穂田)
	橋本 琉生(喜久田)	服部 真直(郡山七)
	椎根 士翔(郡山一)	熊田 心南(宮城)
	寒河江佑介(富田)	橋本 成央(三春)



令和5年度福島県高等学校新人体育大会ハンドボール競技(男子)

ハンドボール部[本宮市総合体育館:11/17~11/19]

3位	千木崎敏広(郡山四)	武藤 光輝(須賀川二)
	渡邊 陸斗(常葉)	武田 開渡(郡山四)
	武田 佳悟(二本松一)	榊 連(郡山三)
	岩田 柁次(郡山一)	高橋 慶悟(郡山四)
	鈴木 渉生(泉)	佐藤 勇誠(安積)
	松本 大毅(安積二)	八島 聡平(安積二)
	鈴木翔太郎(安積二)	相川 陸斗(郡山四)
	高宮 雄貴(郡山五)	佐藤 亮太(日和田)

東北大会

第50回東北総合体育大会

相撲部[山田町立相撲場:8/26~27]

団体	3位	菊田 流雅(友部)	工藤 心暖(坂下)
		國分 夏(三穂田)	佐藤 悠佑(蓬萊)
個人戦	3位	國分 夏(三穂田)	

男子バスケットボール部[奥州市総合体育館 8/19~8/20]

少年男子	2位	矢吹 匠(石川)	遠藤 晴空(本宮二)
バスケットボール競技			

馬術競技部[水沢競馬場馬場 7/8~7/9]

少年標準障害飛越	1位	秋場 大地(上山市北)
少年スピード&ハンディネス	1位	秋場 大地(上山市北)

東北新人大会

陸上競技部[とうほう・みんなのスタジアム:9/27~9/30]

女子100m	2位	陣野 莉心(白河二)	
女子4×100mR	1位	箭内 汐音(船引)	陣野 莉心(白河二)
		佐藤 蓮華(石川)	石川 暖菜(白河中央)
男子100m	1位	遠藤 瑛汰(北信)	
男子4×400mR	1位	吉田 ゆう(船引)	大塚 要介(富田)
		長谷川桜介(郡山)	井上琉之亮(矢吹)
男子400m	1位	吉田 ゆう(船引)	
男子400mH	3位	野崎 鳳惺(白河二)	
男子円盤投げ	1位	小野 大輝(ひた浦風)	
男子走幅跳び	1位	君島 風牙(郡山三)	

水泳部[郡山しんきん開成山プール:10/20~21]

男子50m自由形	2位	石川 遼弥(行健)	
男子200m個人メドレー	1位	柳川 脩汰(郡山六)	
男子400m個人メドレー	1位	柳川 脩汰(郡山六)	

第14回東北女子相撲選手権大会

相撲部[山田町立相撲場:8/26]

個人戦	3位	関下 爽夏(福大附属)	
-----	----	-------------	--

第34回東北高等学校女子駅伝競走大会

陸上競技部[ながい黒獅子ハーフマラソンコース:11/9]

8位	山口 ありす(郡山五)	安齋 響(二本松二)
	近藤 美憂(西郷二)	滝深 心咲(棚倉)
	橋本 琴美(西郷二)	齋藤 莉穂(郡山三)
	水野谷風歌(中島)	嶋崎 桃花(白河二)